



# Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外23号です。表面は、“彩り”で受け入れした事例の紹介です。裏面は、7月18日（木）に開催した、令和元年度第2回地域医療支援病院運営委員会の報告です。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

## 地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れした事例の紹介（第40回）

### ～ 改めて、気付いたこと ～

患者さんは認知症があり、ご主人が自宅で介護をされていましたが、ご主人が疲弊していたため、奥さんに入院して頂きました。

入院当初、「家に帰りたい」「お父さん（ご主人に）会いたい」と、何度も言われていました。時折、ご主人への暴力行為を後悔するような発言もあり、目に涙を溜めておられることもありました。病棟Nsだけでなく、リハビリ科、看護アシスタント、MSWによる関わりと、認知症サポートチームによる助言により、入院生活に少しずつ馴染んでこられました。昼食前の集団体操への参加を促したり、下肢筋力低下予防のため、病棟廊下で歩行訓練も実施しました。

入院後、しばらく期間を置いて、ご主人が面会に来られました。昼食の時間帯でしたので、ご主人が食事を見守って下さいました。お箸の使い方がわからなくなっておられ、時々ご主人が介助をして下さいました。食事の後はしばらくお二人の時間を過ごして頂き、その後、ご主人は帰られました。ご主人がお帰りになられた後、ご本人は「お父さん、やっと来てくれた」と笑顔でお話をして下さいました。現在も患者さんは“彩り”にご入院中ですが、ご主人・ケアマネジャーと相談し、小規模多機能施設の利用を検討しているところです。

\*

今回の事例で良いと感じた点は2つあります。

- ① 院内の多職種が協力して、認知症の患者さんを支えようと努力したこと。特に、病棟の看護アシスタントの関わりにより、チーム力がUPしたと感じています。（看護アシスタントも先日の認知症サポーター養成講座に参加してくれていました。）
- ② 認知症があっても、様々な想いはなくなるということ。（事例を通じて改めて学びました）

\*

今回の事例を通じて学んだことを、今後の“彩り”のチーム力のUPにつなげていきたいと思っています。引き続き、地域包括ケア病棟“彩り”をよろしく願います。

（地域医療連携室 室長 南出 弦）

0774-73-1818（担当：中野・中嶋）

## 令和元年度 第2回 地域医療支援病院運営委員会の報告

### ～ 地域包括ケアシステムの一翼を担うために ～



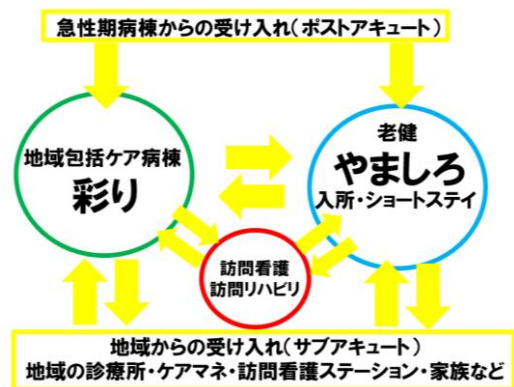
7月18日（木）令和元年度第2回地域医療支援病院運営委員会を開催しました。この委員会は、「地域医療支援病院」の承認要件の1つであり、外部委員（相楽医師会長・山城南保健所長・相楽中部消防長他各市町村代表者など）と院内委員（中井院長・岩本副院長はじめ看護部・薬剤部・事務等）で構成されています。

地域医療支援病院は、地域に開かれた病院であることが必要であり、病院の運営についても、上記の外部委員の意見や要望を聞き、病院運営に取り入れていくことが求められています。

今回のテーマは、当組合がケアミックスとして地域支援を行う上で重要である、老健やましろと地域包括ケア病棟“彩り”について、地域に向けた取り組みを報告させて頂きました。はじめに、老健やましろ大溝副施設長より、老健やましろ設立の経緯から施設の現状及び加算取得や連携についての今後の方向性について報告させて頂きました。次に、地域医療連携室長南出から、地域包括ケア病棟“彩り”における、地域からの相談件数や受け入れ人数が増えている現状を報告させて頂きました。報告後の質疑応答では、外部委員からも老健やましろ入所者の要介護度の推移についての質問や介護補助者について質問がありました。運営については「超強化型」を目指してはどうか

という意見もありましたが、「超強化型」のメリット・デメリットなどの意見もあり、活発な意見交換となりました。

最後に中井院長から、地域医療支援病院として地域の診療所の先生方・行政・ケアマネジャーなど関係機関の皆さまにとってわかりやすく相談しやすい相談窓口にしていくこと、また介護・医療どちらの相談なのか明確で



なくても、国民健康保険山城南病院組合として相談を受け入れ、適切な対応を迅速に行っていくことを外部委員の皆さまに伝えさせて頂きました。

委員会での議事につきましては、過去の分も含め全て連携室に保管しておりますので、お気軽に閲覧下さい。（地域医療推進部 副部長 中村 真史）

### 「山城ケア病棟」と検索下さい。

地域包括ケア病棟広報誌“Design”のバックナンバーがご覧頂けます。もちろん、スマホでもご覧頂けますので、お気軽にアクセスして下さい。

山城ケア病棟

